



やまびこ
2023

2

高等学校第46回卒業生

真=信・心・新の学びと経験を求めて：次のステージへ

「広い心の人」 (高校卒業式式辞抜粋)

卒業生の皆さんは、この社会が、そして神様が創造されたこの地球が、これからどのように変わっていくか関心がありますでしょうか。この新型コロナウイルスによって社会は混乱し、ウクライナとロシアの戦争の影響によって経済が不安定になり、地球の温暖化の影響もあって自然災害も多くなっています。多くの人が悲しみ、不安を覚え、希望を失っています。

しかし、聖書の学びを通して神様を知っている皆さんは分かっています。この山を下って行って、世の中がどのような困難な状況であっても、イエス様の十字架を信じることによって、多くの恵みを神様からいただき、永遠の命が与えられることを。救い主でおられるイエス様に会い、知る為に、そしてそのイエス様を多くの人に知らせる為に、皆さんはこの平和なキャンパスに集められ、学び、そして今日、卒業していきます。

新約聖書のフィリピの信徒への手紙4章4～9節に次の御言葉があります。

「主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。終わりに、兄弟たち、すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて名譽なことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。」

これは使徒パウロがフィリピの教会の信徒に宛てた手紙です。フィリピは、パウロにとって思い出深い町で、彼がヨーロッパに最初の教会をつくったのもこの町でした。それも、パウロは捕らえられ、鞭で打たれながらも、この教会をつくったのです。それに応えて、フィリピの教会の信徒も、パウロのために献身的に尽くし、彼の経済的必要を満たしたこともしばしばでした。パウロはその教会の信徒に、「広い心の人」と言いました。他の訳の聖書では「寛容な人」と言っています。リビングバイブルでは、「自己中心的でなく、思いやりにあふれている人」と言っています。

私たち広島三育学院には、明確な学校設立目的があります。それは、「神様に愛され祝福された者として、自分以外の人を祝福し、幸せにするために生きる人材を育てること」です。皆さんはこのフィリピの教会の信徒のように、神様を愛すること、人の祝福のために生きることを学びました。「広い心」つまり「寛容」を身につけ、「自己中心的でなく、思いやりにあふれる人」に成長しました。この優しい心を持ち続けると、皆さんのこれから歩むべき道、将来の進路、また職業が示されると、私は信じています。平和の神様からいただいた多くの恵みを感謝し、神様を愛し、人の祝福となる道を歩んでください。しかし、神様が示してくださった道だと信じて歩んでいても、前にも後ろにも、右にも左にも進めない時があるかもしれません。そのような状況になった時には、ぜひ上を見上げて下さい。きっと神様がまた、次に進むべき道を示されると私は信じています。

愛する卒業生の皆さん、私は心から祈ります。平和の神様から学んだ皆さんが広島三育学院高等学校の卒業生として、この日本社会に、また世界に、多くの人の心の中に、平和を届けられる人として、人の祝福となることを。神様が選び、このキャンパスに集められた50名の卒業生の皆さん、私は一信仰者として、今日一人ひとりをこのキャンパスから送り出します。皆さんのこれからの将来のために、神様の祝福とお導きがあることを祈りつつ、式辞と致します。

校長 北林 聡

高

第46回卒業式 1/22

1月22日に第46回卒業式が行われました。3年ぶりに保護者の方々にも同じ空間でご列席いただくことができ、天候にも恵まれて感動の卒業式となりました。今回の卒業生はコロナの感染拡大に伴い、全国一斉休校要請によって入学式を行えず、通常とは全く違った形での高校生活の始まりとなりました。卒業生代表を務めた柴田君の感謝の言葉の中に、次のような言葉がありました。「振り返ってみると、私たちはあともう少しでコロナ前と同じ学校生活に戻れそうでしたが、あと少しで届きませんでした。あともう少しで学校行事を例年通り思う存



分楽しみ、演奏旅行に行って各地で神様を伝えることができそうでしたが、夢はかないませんでした。聖書に出てくる約束の地にあと少しで入れなかったモーセのように、わたしたちはこの3年間あつと少しのところで道が閉ざされてしまうことが多かったような気がします。ですが、コロナで我慢を強いられていることについて学校をそして世界を責めれば責めるほど私たちは三育という仲間を守られていて、三育という家族のありがたさを言葉では表せないほど感じました。だからこそ、こうして卒業式を無事にできていることも神様のご計画の中、多くの人の助けがないとできないことを私たちは一番知っていて感謝の気持ちでいっぱいです」。たくさんの我慢と諦めを強いられた卒業生たちが、その中であつても一生懸命前向きに高校生活を頑張ったからこそ、涙と感動に包まれた素晴らしい卒業式になったのだと感じました。(3年学年会主任 天野博民)

高

少し遅れのクリスマスコンサート 1/14 (土), 18 (水)

昨年12月の高校聖歌隊・ハンドベルクワイアのクリスマスコンサートツアーは、コロナのためすべて中止となつてしまいました。高校3年生は3年間ツアーに行くことが出来なかったばかりか、最後になる昨年は、練習を重ねたのに一度もクリスマスコンサート本番を行うことが出来ませんでした。

行事報告

今回その代わりにコンサートを、1月14日にハンドベルクワイ



ア、18日に聖歌隊がそれぞれチャペルで行いました。練習時間がほとんど無い中、生徒たちは本当に集中して全力で演奏し賛美しました。個人的な話ですが、聖歌隊の指揮をしながら、演奏旅行中止の無念さを振り払い真剣に賛美する彼らの姿を見て、心から生徒たちを誇りに思い、神様に対する感謝と喜びで胸がいっぱいになりました。本当に素晴らしいコンサートでした。(音楽部主任 根本潤)

○1月14日夜にハンドベルクリスマスコンサートを開催いたしました。3年生にとって最後のコンサートが出来ました。帰校してすぐで



メンバーもそろわず、準備する時間も限られましたが、祈りつつ無事に演奏が出来ました。クリスマスはイエス様の救いのメッセージをお伝える特別な時です。少しでもその喜びが伝わればと頑張ってくれました。11月末に広島教会へ演奏に行ったあと、ご年配の女性の信者さんから感謝のお手紙を頂きました。神様とハンドベルを愛し、それを鳴らす生徒さんのお姿に感謝だったこと、演奏曲にこの方の大好きな讃美歌があり涙が出るほど嬉しかった事等が書かれていました。これからもベルの演奏を通して神様を賛美する姿を通して証できるグループでありたいと願っています。(ハンドベル顧問 高田雅光)

Schedule for the Activities

中学校

高等学校

	中学Ⅱ期入試		5日(日)	同袍(1年)部屋替
8日(水)	休日、バレーボール大会	2月	6日(月)~10日(金)	修養会(2年)
12日(日)~18日(土)	卒業祈禱週		7日(火)~9日(木)	SAP(1年)
19日(日)	第3回英検2次/PTAフォーラム(オンライン)		19日(日)	第3回英検2次/PTAフォーラム(オンライン)
20日(月)	課題精算日		20日(月)	高校Ⅱ期入試
26日(日)	中学Ⅲ期入試			
7日(火)~8日(水)	期末試験		6日(月)~9日(木)	定期考査V
8日(水)	寮お別れ会	3月		
9日(木)	親睦会			
10日(金)	テスト返却授業/卒業献身会			
11日(土)	卒業礼拝・ハイライト			
12日(日)	第46回卒業式			
13日(月)	部屋替え(高校寮への引越し)		13日(月)	試験返却① 午後:HRパーティー
14日(火)	特別作業・表彰式		14日(火)	試験返却② 午後:特別配置労働・表彰式
15日(水)	終業式・帰省	15日(水)	終業式・帰省	
		20日(月)	高校Ⅲ期入試	
6日(木)	在校生帰校日/始業式	4月	6日(木)	在校生帰校日
			7日(金)	始業式
10日(月)	新入生入寮日		10日(月)	新入生入寮日
11日(火)	入学式(9時30分~)		11日(火)	入学式(11時~)